

キャリア教育で子どもを伸ばす

～地域の子どもを地域のみんで育てましょう!～

中学2年生が行う「キャリア・スタート・ウィーク」とは…

キャリア教育の中心的活動として、生徒の勤労観、職業観を育てるために、生徒が事業所などの職場で働くことを通じて職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。

本市では、平成21年度から「村上市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会」を組織し、受入れ事業所の皆様と学校、支援組織等が連携を密にして次代を担う中学生の職場体験が価値ある活動となるよう支援しています。

職場体験の受入れには こんなメリットが!

- ◇ 次代を担う人材の育成として活用でき、事業所の地域貢献、社会的役割を具体化できます。また、地域における企業の認知度の向上にもつながります。
- ◇ 職場の活性化や社員教育の一環として活用できます。
- ◇ どのように受け入れるかを考えることで、仕事の見直しの機会になります。
- ◇ 教えるという刺激が加わり、従業員のモチベーションが上がります。



<事業所>

仕事の上で関わり、人と交流する機会を多く設けて、机の上ではなく実際に行動してもらい、感じとってもらえるよう心掛けました。

<生徒>

お客さんのために何でもする事業所の皆さんの姿がかっこよくて、自分もそうなりたと思いました。仕事をするときの参考にしたいです。

<生徒>

「入社してよかった」とのお話に、自分も将来、仕事に愛情を持ちたいと思いました。

<事業所>

皆、きちんと挨拶ができ、話を聞く態度もしっかりとしていました。きちんと挨拶することが、人から信頼を得ることなので、これからも続けてほしいという話をしました。

<保護者>

泥まみれの体育着を見て、頑張ってきたことが伝わりました。働くことの楽しさ、大変さに気付いてくれたらと思います。良い体験ができました。事業所に感謝します。

事業所や生徒、
保護者、学校から
寄せられた声
(令和3年度体験より)

<生徒>

仕事に対する情熱や誇りを学び、感謝の気持ちや安全に気を付けることも教えてもらいました。将来、環境等に関わることのできるやりがいのある仕事を選びたいです。



<学校>

生徒の振り返りには、必ず、働くことの大変さや社会的な責任についての気付き、保護者や地域社会への感謝の気持ちがありました。職場体験を終えてからは、他と進んで関わり、積極的に新しいことに挑戦しようとする意識が高くなってきています。